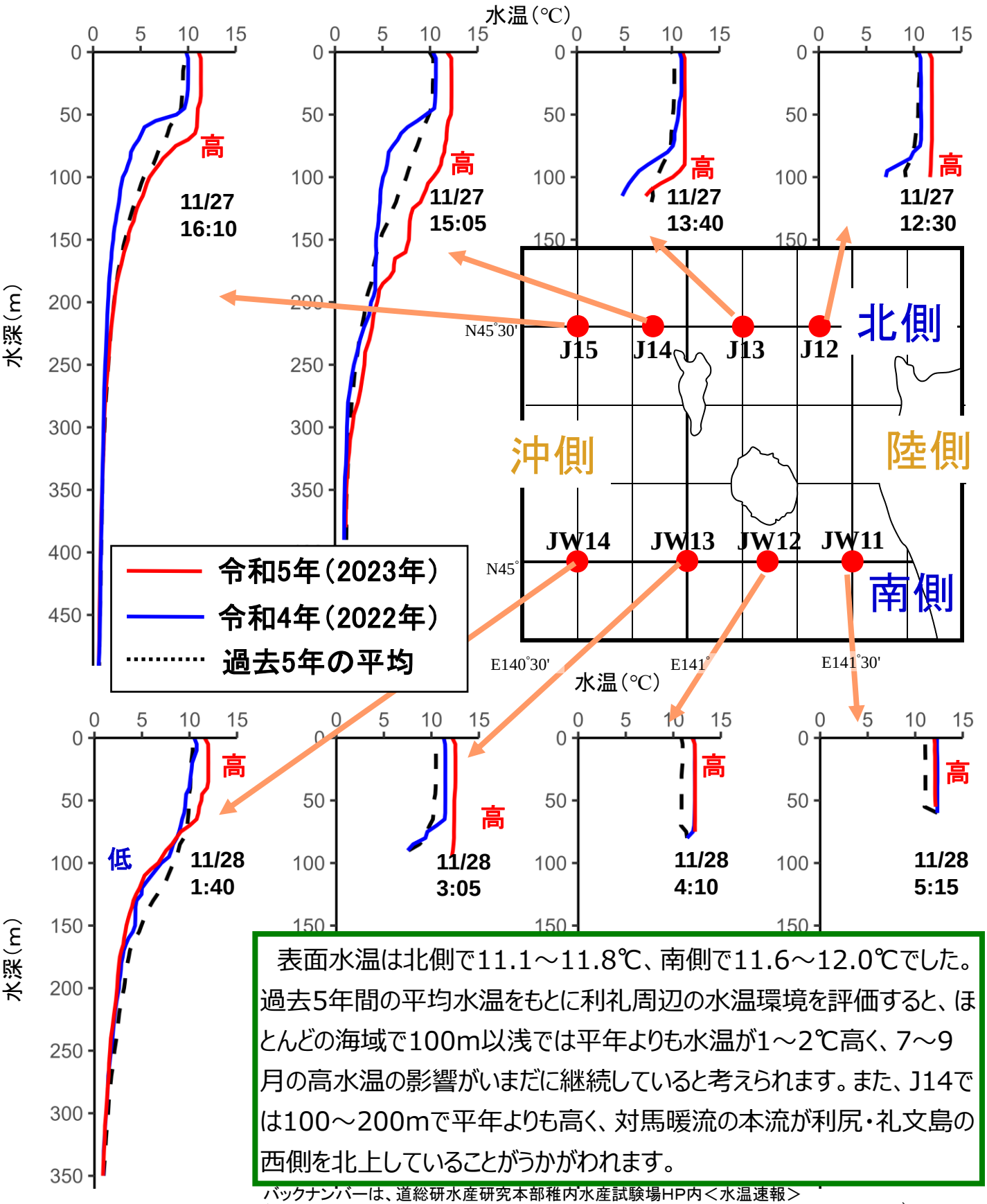
水温速報 No.120

試験調査船「北洋丸」による観測

令和5（2023年）年12月06日
北海道立総合研究機構水産研究本部
稚内水産試験場
（0162-32-7166：佐藤）

令和5年（2023年）11月27日～11月28日に実施した日本海定期海洋観測結果のうち、利尻・礼文両島周辺の8定点における水温の速報値をお知らせします。



表面水温は北側で11.1～11.8℃、南側で11.6～12.0℃でした。過去5年間の平均水温をもとに利礼周辺の水温環境を評価すると、ほとんどの海域で100m以浅では平年よりも水温が1～2℃高く、7～9月の高水温の影響がいまだに継続していると考えられます。また、J14では100～200mで平年よりも高く、対馬暖流の本流が利尻・礼文島の西側を北上していることがうかがわれます。

平年:2018～2022年の平均

バックナンバーは、道総研水産研究本部稚内水産試験場HP内＜水温速報＞（https://www.hro.or.jp/fisheries/research/wakkanai/surveys-knowledge-of-fish/f1hig40000000nd3/inpvt40000001fya.html）から入手できます。　キーワード：『利尻　水温』で検索